

(別紙4)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 2023年 3月 27日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	2292300379		
法人名	医療法人社団 弘仁会 中根クリニック		
事業所名	グループホーム かりんの花		
所在地	〒416-0903 富士市松本134-1		(電話) 054-60-9000
自己評価作成日	2023年3月18日	評価結果市町村受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	
所在地	
訪問調査日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>・ご利用者様の尊厳が守られるように、ご利用者様のお話を傾聴し、ケアに活かしています。「できない、やれない」ではなく、どうしたらできるか？を考え、今までの日常生活が中断されることなく、継続し続けることが出来るように皆で悩みながらケアを行っています。正解のない介護に一個一個答えが出していけるようなチームを目指しています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

2 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム かりんの花

作成日 2023年3月27日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	コロナ禍に伴い、書面上又は少人数での開催を行ったが、意見や案の具体的な実践が難しかった。	現状より、さらにサービスの向上を目指す。	コロナ緩和に伴い、運営推進会議の参加の呼びかけ、またご家族様が参加できる企画を工夫し、関わられるよう努める。	6ヶ月
2	4	施設外での地域の方々の関りが減り、閉鎖的になってしまっている。	施設外への参加（活動）	地域活動が再開され、情報共有し参加できるように努める。	6ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型施設として、地域の方に利用しやすい環境を、理念に基づき提供している。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新型コロナの影響により地域との関りが減っています。緩和された時に参加できるように状況を確認している。		現状で取り組み可能な地域交流を検討し、位置づけていただけたらと思います。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の理解を深めて頂くために、交流会等企画していたが、新型コロナの影響で実践できなかった。今後実践出来るように努める。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	感染対策により、参加人数の制限により少人数での開催を行った。地域の状況・市の対応等情報提供の場として活用している。	会議については感染症対策により、webや書面など少人数での開催等、柔軟な対応により行っている。今後も外部の声を聴けるような取り組みを継続してほしい。書面開催の時も写真等の資料が送付されてきたので、様子を確認することができた。	今後も家族や地域の方々とのやりとりを通じ、ご意見のサービス向上に活かして頂きたい。ZOOM等オンライン会議システムなどを活用し開催・参加させて頂いた
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に参加していただき、日頃の業務等でわからないことは連絡を取り、情報を頂いている。	運営推進会議を通じて、事業所の状況を伝えている。 推進会議の中で施設案内を区内回覧を提供し実施できた。	今後はコロナも緩和していくので、多くの方の参加と意見が反映できる場になる様にして頂きたい。
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人研修全体で身体拘束廃止を掲げている。ご利用者様の状況により生命の危機・切迫性がない限り、拘束をおこなわないケアに心掛けている。	法人として身体拘束廃止のための取り組みをしている。 身体拘束について、代表の方をはじめとして施設全体で理解を進めているとのことで、今後も継続して頂ければと思います。	研修や委員会を通じ、事業所として日々の介護に置いても反映されるよう努めていただきたい。 身体拘束防止に関しては、常に啓発が必要だと考えております。現在も研修などを継続していただければと思います。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待が行われないう、研修・指導・環境作りを行っている。状況に応じて職員一人に負荷がかからないような業務の作成をおこなっている。		

8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人研修等を活用し自立支援・成年後見人制度を学んでいる。ただし、全てこたえられるほどの知識がない為、今後も継続し研修等を実施する。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の説明を行い、後日不明な点や納得が出来ないことなども、迅速に対応させて頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時やお便りにて、ご利用者様の普段の様子をお伝えさせて頂きます。またご家族様、ご利用者様の意見は、会議等にて出来る限り対応させて頂いています。	利用者家族への情報提供や情報交換が積極的に行えていると思います。	今後も現在の状況を維持していただければと思います。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に職員面談を実施し、職員の不安・不満など確認しています。	推進会議資料に日頃の努力が読み取れます。コロナ感染拡大により職員の方々もご苦勞されていると思います。現状の体制を維持し、職員の声が運営に反映されるように今後もよろしくお願い致します。	職員の方も参加できるようにして頂きたい。直接現場で働いている方から話も聞きたい。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課等個々の評価をしっかりと評価している。給与に反映は管理以上で評価している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員一人一人の能力に合わせ研修に参加している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	webでの研修・連絡会に参加している。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用者様、ご家族様のニーズに合わせケアの提供をしている。		

16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約段階で、ご利用者様ご家族様の問題を解決できるように、提供内容を提示し関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアマネがしっかりとアセスメントを行い、その時必要な具体的なケアをケアプランに落とし込んでいる。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	馴染みの関係性が作れるように、出来る限り同じ職員が対応できるように、専従の職員を配置している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナにより面会等が中止になっていたが、ご利用者様の様子を心配されないように、お手紙や電話等で伝えている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご近所様や馴染みの顔に会えるようにお声掛けをさせていただいている。	コロナ禍でも地域とのつながりを持つようとする活動はとても素晴らしいと思います。今後も感染対策を行いつつ、継続していただければと思います。	地域の方々との挨拶や、職員の方々とも馴染みの関係づくりのもと、利用者が安心して生活を送れるよう留意していただきたいと思います。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様同士の関係性を築いていただくため、職員が状況見て対応している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても、同じように相談や支援が出来るようにお伝えし、気軽に来設出来るような関係性を築くように努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意向に添えるように努力している。	今後も本人の思いを受け止める取り組みを継続していただければと思います。	本人の意向の確認が難しいケースも多いと思いますので、そのような場合には家族からの聞き取りなどを行い、周囲がチームとなり本人の意向を提案して頂ければと思います。

24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用者様の生活環境を変えず、生活を継続できるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の状態を確認し変化に気づくように努めて、残存機能を活用するように努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	各関係者と意見を出し合い、ご本人様が安心して過ごせる環境を作るように努めている。	本人をはじめとした関係者がチームとなりケアプランの作成が行えているとのことで今後も継続して頂きたい。	今後も周囲が本人を支えるチームとなれるようなケアを継続して頂きたい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の情報を共有し、ケア・計画の見直しに努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者様のニーズに合わせ、柔軟な支援が行えるように努めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	安全で豊かな暮らしが提供できるように努めている。また、一人ひとりに地域資源が地峡出来るように努めているが、まだ十分な提供が出来ているとは言えない。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療法人の為、医療連携は適切に支援行えている。ご家族様にも随時報告し、受診の必要性がある場合は相談させて頂いている。	かかりつけ医を家族や利用者本人が選択できる体制づくりは素晴らしいと思います。今後も継続して頂ければと思います。	今後も、主治医や家族との連携を深めて頂ければと思います。
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週小規模多機能の看護師が利用者様の状態を確認している。必要に応じ相談し適切な支援が行えている。		

32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は必ず、家族含め病院との連携を密に行っている。必要に応じて書面又は面談で情報交換を行っている。		入院時に医療関係者との密なやり取りが行えているとの事なので今後も継続して頂ければと思います。
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階でDrよりムンテラを行い、本人・ご家族様の意向に添えるよう終末期のケアを話し合っている。事業所で出来ることを会議等を使い、支援方法を話し合っている。	医師からのICや看取りに向けての話し合いがしっかりと行えているとのことで、今後もこのような取り組みは続けて頂きたいと思えます。	終末期に家族の思いも揺らぐので、最期まで家族の思いを汲んで今後も支援して頂ければと思います。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全職員が救急救命の研修を実施。AEDの訓練を受けています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回防災訓練を実地している。また毎月防災委員会にて会合を行い、防災に関する情報共有を行っている。	防災訓練を年2回実施。風水害マニュアルを作成している。推進会議資料として、各逃げ場時マップ・区訓練計画を持っていた。	引き続き、地域防災訓練への参加をご検討いただき、地域との協力体制を築いて欲しい。避難訓練や話し合いの中でBCP等の内容をより細かく実践に近いものにして頂ければと思います。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様の尊厳を守る為、言葉使い態度に気を付け敬語で話し、ご利用者様の話には傾聴している。	利用者の尊厳を守るために職員全体でコミュニケーションの方法を検討されているようなので今後も継続して取り組んで頂きたい。	尊厳を守るための職員の対応などは啓発を続けていくことが必要と考えますので、今後も同様の対応が行えるように研修などを続けて頂ければと思います。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人一人の思いや希望を聞きだせるような工夫を行い、ご本人様の希望が叶うように努力している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務優先・全員が同じことを行うのではなく、本人に合った生活を過ごしていただく為の支援を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎月理美容にてご本人様の希望をカットされている。カラーパーマも同様に希望があれば行っている。衣服が同じものだけを繰り返すことのないように努めている。		

40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	いつもと同じ食事だけでなく、イベントや季節の食事を楽しんでいただく企画を実地している。	行事については月ごとに担当職員を決めて計画しており、誕生日や季節をからめた食事の提供等を実地している。 今後も食事が楽しめ、季節感を感じられるような取り組みを継続して頂ければと思います。	コロナも緩和傾向にあるので、少しずつで良いので、外食や外への企画を再開して頂きたい。状況を見て今後は増やしていく。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご利用者様の栄養状態で、Dr相談し補助食品等で健康状態を把握している。水分摂取には気を付け、一定量より減らないように工夫を施し摂取できるよう支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	必要な方には歯科医師に相談し、クリーニングを施行していただいている。日常での口腔ケアに関して、必要に応じて職員が仕上げを行い清潔が維持できるように支援している。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレでの排泄が継続できるよう、その方にあったパターンで声掛けを行っている。おむつ使用している方でも、日中で外せる時間は紙パンツを使用するなどの支援を行っている。	排泄パターンを把握し声掛けを行ったり、オムツの時間を減らすなどの取り組みは素晴らしいと思います。今後も継続していただければと思います。	少しでも自立できる時間が長く続くように、今後も支援して頂けたらと思います。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	出来るだけ薬に頼らないように、水分量や食事に気を付けるよう努力している。入浴維持等腹部マッサージなど支援している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	ご利用様のタイミングや時間帯に合わせてられるように努め、個々にあった入浴を支援している。	入浴時間帯は午前中1人あたり30～40分の入浴時間(実地指導時) 利用曜日を決めずに利用者の希望で入浴できる取り組みは素晴らしいと思います。今後も継続して頂ければと思います。	入浴支援が、利用者にとってリラックスでき、職員の方々と話す機会が持てる時間となると良いと感がある。介護度が高い利用者様でも、入浴できる工夫ができればよい。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間までの時間を大切に、ご利用者様一人一人が好きな時間で入床出来るよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご利用者様の薬の目的や副作用等は薬情等を確認し服薬に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人に合ったレクや生活リハビリを提供し、日々の生活が業務的にならないよう支援に努めている。		

49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族様・ご本人様の希望を伺い外出できるよう支援を行っている。(コロナ拡大中は中止している)	コロナ禍で積極的な外出支援が難しいとは思いますが、別項でお伺いしたような取り組みの継続をお願いします。	敷地内や近所の散歩等、3密対策の中での支援を継続してほしい。状況を見て緩和していたら少しづつ施設外に出かけて欲しい。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物と一緒に出掛け、お金を使う機会を設けている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様・家族様の連絡が途絶えないよう支援に努めている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間の環境整備に努め、室温の調整や換気を行い、居心地の良い空間を作ろうと努力している。	共有の空間は作品等の装飾で季節感があり、清潔に保たれていた。 環境面の調整は、過ごしやすいようになかなか多くの面で検討頂いているようなので、今後も継続して頂ければと思います。	新規入居者についても、以後ごちの良い生活環境となるよう、支援していただきたい。家族などの意見も取り入れ、個別性を持った環境調整を今後も津図けて頂ければと思います。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ひとりひとりが共有空間で過ごせるよう配慮している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個別によって偏りがあるが、馴染みの物を居室に置き、これまでの生活の継続が出来るように、ご家族様に説明し協力していただけるよう努力している。	今後も居心地の良い環境が出来るようにサポートをお願いします。	入居の時点で、出来るだけ馴染みな物を持って来ていただけるように、家族様にご理解して頂いて下さい。
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立した支援ができるように支援させていた		

V アウトカム項目				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの ○3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と ○2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある ○3, たまにある 4, ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに ○4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている ○3, あまり増えていない 4, 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が ○2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が ○2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が ○2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない		